

一次の文章を読み、後の問いに答えなさい。

私は、科学への「不信」や未来への「不安」を解消するための第一歩は、科学をもっと身近にすることではないかと思っています（「不安」を訴えるだけでは、何も変わらないのです）。現在地球上に生じているさまざまな矛盾を解決するには、**A** 科学の力に頼らざるを得ないからです。**B**、私たちが現在 **A** 力かえている問題の本質は何で、それにはどのような手を打てば解決できるか、をイジュンジョ立てて考えることが大切なのです。

科学の力が大事だといっても、病人に次々と注射して、さらに病気を悪化させるようなことになつては何にもなりません。**C**、一つ一つの問題を、あらゆる角度から検討する必要があるります。だから、「

科学の専門家にまかせてしまつてはいけません」のです。市民が一人一人、自らの頭で考えて意見を述べる、それによつて専門家には見えない側面が明らかになるのです。

かつて、病気をウナオすためと称して、本人の同意を得ず、人体実験がなされたことがあります。あるいは、もはやナチスが原子爆弾を作っていないことがわかつてからも、マンハッタン計画は推進され、科学者はそれに協力し続けました（ナチスが先に原子爆弾を作るかもしれないという理由で、マンハッタン計画が発したのです）。専門家は、自分たちが向かつている問題がおもしろければ、その解決が何をもたらすかにはおかまいなしに、研究に熱中してしまいがちです。それにブレーキをかけるのは、科学の内容を理解し、さらにそれが現実化したときに、どのような事態が引き起こされるかを判断できる知力なのです。このような専門家と市民の相互作用こそが、未来を明るくものにすることに違いありません。科学の考え方・進め方を知った市民となることが求められているのです。

おそらく、現在のままの消費構造やエネルギー使用を続けていくなら、一〇〇年もたないうちに地球は行きづまつてしまふと思われまふ。資源やエネルギーが足りなくなるのではなく、それらの使い過ぎで地球環境が荒廃してしまふからです。**D**、私たちはどのような生活へ変えていかねばならないのでしょうか。そして、それをどのようなエミチスジで達成すべきなのでしょう。

そう簡単には答えが出そうにないこの問題には、世界中の人々が知恵を出し合つて話し合わなければならぬでしょう。むろん、国内でも、地域でも、合意が得られることが必要です。そのためには、いったいどのような手だてが必要なのでしょう。私は、手持ちのデータを駆使して、未来を予測することではないかと思っています。何ができて何ができないか、ある道を選べばどのような結果になるか、どこまでをオキョウでどこからは受け入れられないか、そのような予測を世界各国のみんなが慎重に検討し、一致できることから行動する、そんな手続きが必要でしょう。ここに科学の力が生かせるのです。かつては戦争によつて、強い国の論理が押しつけられてきました。そのような暴力ではなく、「科学の知」が世界の未来を決定してゆくのです。

池内了『科学の考え方・学び方』

問一 二重線部アのカタカナを正しく漢字に直しなさい。

問二 **A** **D** にあてはまる言葉をそれぞれ次の中からえらび、記号で答えなさい。
ア しかし イ では ウ やはり エ まず オ つまり

問三 傍線部「病人に次々と注射して、さらに病気を悪化させる」とはどのようなことのこととえですか。三十字以上四十字以内でわかりやすく説明しなさい。

問四 傍線部「科学の専門家にまかせてしまつてはいけません」とありますが、市民はどのようなことをする必要がありますか。本文中の言葉を使い、三十五字以内で答えなさい。

問五 傍線部「科学者はそれに協力し続けました」とありますが、なぜですか。その理由が書いてある一文を本文中から抜き出し、初めの五字を答えなさい。

問六 傍線部「市民」に求められているのはなんですか。本文中から五十字以内で抜き出し、初めと終わりの五字を答えなさい。

問七 傍線部「一〇〇年もたないうちに地球は行きづまってしまおう」とありますが、なぜですか。次の中から一つえらび、記号で答えなさい。

ア 現在の消費構造やエネルギー使用を続けていくと、資源やエネルギーが足りなくなるから。

イ 地球環境がどんどん悪くなることで、資源やエネルギーなどが使えなくなってしまうから。

ウ 資源やエネルギーを使い過ぎてしまふことで、地球環境そのものが荒れ果ててしまふから。

エ 資源やエネルギーがなくなり、市民と専門家が話し合うことができなくなってしまうから。

問八 傍線部「『科学の知』が世界の未来を決定してゆく」とは、どのような意味ですか。次の中から一つえらび、記号で答えなさい。

ア 科学者の研究によってもたらされた結果が現在のエネルギー問題を解決していくということ。

イ 世界各国の代表が検討したことが世界の人が行動するべき方向性を決定していくということ。

ウ 未来がどのようなのかを予測したデータに世界各国の人々がしたがっていくということ。

エ データによって結果を予測し何をするべきか世界中の人々が話し合い選んでいくということ。

- 2 -

「二次の文章は「美咲（師岡さん）」が入院し、「あたし（理穂）」と先生と友迫さんの三人でお見舞いに行った時の話である。次の文章を読み、後の問いに答えなさい。

「師岡さん、早く、元気になってね……」

みんな待っているからお見舞いの言葉を続けられなくて、友迫さんが「１」。

「師岡さん、かわいそう」

嫌な予感がした。ひどく落ち着かない気分だった。

こんなになって、痛いでしょと、友迫さんは A シャクリ上げ、先生も少し涙ぐみながら、その頭をなで、美咲のお母さんは、

「ありがとう。優しいのね。でも、もう少しの辛抱なの。二学期からは、学校に通えるから仲よくしてやってね」

と、エプロンで「２」。あたしは黙っていた。美咲は、目を閉じて動かない。指先だけが、シーツを握りこんでいた。

涙やら、思いやりの言葉やら、お見舞いの品やら、お礼の挨拶やらが、アセイケツな白い病室の中を行き来し、それが一段落し、わたしたちは B 辞することになった。

「理穂ちゃん」

急ぎ足で病室を出ようとした時、美咲は目を開け、弱々しい声であたしの名前を呼んだ。ちゃんづけで呼んだ。嫌な予感はいカクシンに変わり、あたしは、覚悟を決めた。もう少し……います」

a そう、師岡さんを疲れさせないようにね。 b 理穂ちゃん、あとでおばさんが、お家まで送って行くわ。 c 師岡さん、さよなら。ほんとに、待ってるからがんばってね。 d じゃ、そこまでお見送りします。 e いえ、もう、よろしいですよ。 f 先生、出席日数のことで……

頭の上や身体の横を、言葉は漂い、消えていく。みんな出ていく。閉まる寸前のドアの向こうで、友迫さんが目を赤くして微笑み、【 3 】。

最悪なウテンカイだ。あたしは悟り、もう一度覚悟を決め、美咲のベッドまで大股で近づいた。美咲が起き上がる。

「理穂」

美咲は、あたしに「構えるヒマを与えなかった。バシッと頬が鳴る。鋭い痛みが走る。よろめかないように、足を踏ん張るのが精一杯だった。

「よくも、こんな恥ずかしいこと、してくれたね」

息を荒くして、美咲がにらむ。点滴のチューブが揺れた。

「理穂、あんた、最低！」

「わかってる」

「わかってない」

「わかってる！」

わかってる。これは屈辱だ。美咲にとって、【 X 】な同情ほど屈辱的なものは、ない。千羽鶴の束が、ベッドの下に滑り落ちる。

千羽鶴はいい。お見舞いの手紙も花束もいい。でも、友迫さんの涙だけは、まずかった。自分が、かわいそうな少女にされてしまったことに、美咲は蒼白になって怒っている。怒りながら、耐えていた。

「何よ、なんで、あたしが泣かなくちゃいけないのよ。あんなふう……」

美咲の目から涙がこぼれた。噛みしめた唇から、【 4 】。

悔しい、悔しい、ちくしょう。

他人に対し、【 Y 】と泣くことに、人はもう少し慎重でなければならぬだろう。

助力できるなら、救えるのなら、最後まで支え続ける覚悟があるのなら、泣けばいい。友迫さんの涙は、無責任だった。エカッテに泣いて、かわいそうがって、自分の気持ちだけ淨化して、微笑んでサヨナラなんて、あまりに無責任だ。無責任な覚悟のない優しさは、ただの憐れみにすぎない。あたしが美咲から学んだことだった。

憐れまれて、たまるもんか。

シーツの上で、美咲の涙がシミになる。

「わかってる」

あたしは、呟いた。あたしも美咲を侮辱した。優しい親友の役を拒否できなくて、このこついてきた。最低だ。わかってる。

スリッパの音がする。おばさんが帰ってきたのだ。あたしは、台の上のオセンメンキから、タオルをつかんだ。しっとり、濡れている。

「美咲、これ、きれい？」

「そうだけど、何を？」

美咲をベッドに押し倒す。顔にタオルをかぶせ、拭く。骨の手ごたえしかない肩を押さえ、力をこめて拭く。拭けば、少しは涙の痕が隠せるだろう。美咲の泣き顔を誰にも見せたくなかった。たとえ、親にでもだ。

くあさのあつこ『ガールズ・ブルー』く

問一 二重線部ア～オのカタカナを正しく漢字に直しなさい。

問二 【 1 】 【 4 】にあてはまる言葉を次の中からえらんで記号で答えなさい。

ただし、同じ記号を二回使ってはいけません。

ア 目頭をぬぐった イ うめきが漏れた ウ 顔をあげた
エ 泣きだした オ 手を振った

問三 点線部A「しゃくり上げ」B「辞する」C「構える」のここでの意味として適切なものをそれぞれ一つえらび、記号で答えなさい。

A しゃくり上げ

ア なみだを流してしずかに泣く

イ 声や息を震わせるように泣く

ウ 大声をあげてわめくように泣く

エ 声や息を吸い上げるように泣く

B 辞する

ア あいさつする

イ 謝罪する

ウ 退室する

エ 返答する

C 構える

ア 仕返しする

イ 備える

ウ 答える

エ 考える

問四 傍線部「美咲は、目を閉じて動かない」とありますが、なぜですか。次の中から一つえらび、記号で答えなさい。

ア 周囲の人のおしゃべりに付き合っていないと思ったから。

イ 体調がすぐれず、目を開けているのもつらい状態だったから。

ウ 持ってきてくれた千羽鶴や手紙にも特に興味がなかったから。

エ 周囲の状況にこみあげてくる怒りをじっとこらえていたから。

問五 傍線部「あたしは、覚悟を決めた」とありますが、どんな覚悟を決めたのですか。次の中から一つえらび、記号で答えなさい。

ア しばらくこの部屋に残る覚悟。

イ 美咲の感情を受けとめる覚悟。

ウ 美咲にいやみを言われる覚悟。

エ いま帰るのをあきらめる覚悟。

問六 波線部a～fから「美咲のお母さん」のセリフをすべてえらび、記号で答えなさい。

問七 傍線部について、なぜ「わかってない」と思ったのですか。ここより後の本文中から理由となる一文を探し、「理穂が」から「の形になるよう二十五字以内で抜き出しなさい。

問八 Xにあてはまる言葉を次の中から一つえらび、記号で答えなさい。

ア 安易

イ 派手

ウ 複雑

エ 素直

問九 傍線部「千羽鶴はいい。お見舞いの手紙も花束もいい。」とありますが、どうしてですか。次の中から一つえらび、記号で答えなさい。

ア やりとりがなく、受け取るだけなので、恥ずかしくないから。

イ もらって当然のもので、同情されているわけではないから。

ウ 直接同情するものではなく、間接的に同情するものだから。

エ 病気の美咲をあわれむものではなく、はげますものだから。

問十 Yにあてはまる言葉を本文中から探し、五字以内で抜き出しなさい。